

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第3回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

○ 春日山荘における趣味講座について

(2) 自主的審議事項（公開）

○ 各分科会における審議の状況について

3 開催日時

令和4年6月21日（火）午後6時30分から午後9時15分まで

4 開催場所

市民プラザ 第2会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委員：市川 優、太田一巳（会長）、岡本重孝、白濱昭博、田中裕子（副会長）
谷 健一、藤田晴子、本多俊雄、丸山佳子、山田 孝、吉田 実（副会長）
吉田義昭、渡邊康子、渡部忠行（欠席3人）

・市役所：福祉部 小林部長
高齢者支援課 星野課長、橋本副課長、近藤はつらつ係長、荒木主任
福祉課 宮崎課長

・事務局：中部まちづくりセンター 小林センター長、藤井係長、山崎主事

8 発言の内容（要旨）

【藤井係長】

- ・会議の開会を宣言
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上

の出席を確認、会議の成立を報告

【太田会長】

・挨拶

【藤井係長】

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【太田会長】

・会議録の確認：丸山委員に依頼

次第3 議題「(1) 報告事項」の「春日山荘における趣味講座について」に入る。

前回の会議にて、春日山荘における趣味講座の移転について委員より意見があったため、本日は担当課より説明を受けたいと思う。担当課より説明を求める。

【高齢者支援課 星野課長】

・資料1及び参考資料1～3により説明

【太田会長】

今回は、会議の冒頭部分で事務局から話があったとおり、質疑応答のみとし、提案等を行うかは次回以降の協議にて決定することとする。今ほどの説明に不明な点があれば挙手にて発言を願う。

【渡部委員】

最初に確認するが、春日山荘の所有者は社会福祉協議会なのか。

【星野課長】

建物は社会福祉協議会で、土地は市が所有している。

【渡部委員】

私が町内会長を務めていた時には、春日山荘の運営を検討するような委員を町内から2名程度推薦していた記憶があるが、これは今も続いているのか。

【福祉部 小林部長】

春日山荘の運営を検討していく上で、社会福祉協議会に同様の取組があったかもしれない。

【渡部委員】

了解した。来年の4月から市民いこいの家に移転すると聞いたが、春日山荘の趣味講座移転と、市民いこいの家の温浴施設廃止が混乱していて理解が及ばない。春日山

荘では雨漏りがひどいのに移転時期はどんどん伸びてしまっている。利用者にも予定があるため、例えば令和5年度からなどと、ある程度の目安を提示していただきたい。そういった説明がこれまで全然ない。

【福祉部 小林部長】

受講生には、可能であれば令和5年度に移転をさせていただきたいと説明してきたが、その後に直江津区地域協議会で温浴施設の廃止が支障ありとされたため、一旦ストップしますと連絡したところである。

春日区地域協議会への説明は、コロナ禍でオミクロン株が流行していたことや直江津区で否決となったことから、これまで延期となっていた。

【渡部委員】

令和5年度からの移行は、とりあえずキャンセルということによいか。先ほど話したとおり、春日山荘は雨漏りがひどく、トイレの使用も危ない状況である。

もう一つ質問するが、社会福祉協議会は、趣味の講座が終了した後に春日山荘をどうする予定なのか。計画はあるのか。

【福祉部 小林部長】

先ほど申し上げた通り、春日山荘の建物自体は社会福祉協議会の持ち物である。これから数年は大丈夫だと思うが、男子トイレが一部使えない等の状態にあり、いずれ駄目になるのは間違いない。空き家になった春日山荘をどうしていくかについては未だ決まっていない。

【渡部委員】

最後に、今日の目的は何だったのか。我々は協議会で何を議論したらよいのか。

【福祉部 小林部長】

本来であれば、直江津の地域協議会で了解を得たら、春日区地域協議会に説明する予定にしていた。先月、皆さんから意見が出たということなので、今回、遅ればせながら現状の説明に来た。3年前の令和元年に、代替施設を探すと春日区地域協議会へ説明したままになっていた。

地域協議会へ諮問をするのは、基本的に市が所有している公の施設が廃止をするとき等である。春日山荘は、市の施設ではないため、正式な諮問にならないが、我々としては可能な限り説明していきたいと思っているので、また動きがあれば説明していく。今日はそうした途中経過の説明とご理解いただきたい。

【太田会長】

他に質問等はないか。

【吉田義昭委員】

高齢者の生きがいつくりや健康づくりの観点から、引き続き趣味講座を実施する必要があるため、市として老朽化した施設を新たに造っていく方針はないか。講座の会場を分散する考えのようだが、私たちがヒアリングした結果では、できれば春日山荘を残してほしいというニーズがたくさんある。

もう一つは春日山荘の修繕費についてである。大きな改修はできないにしても、利用者の負担を少なくする工夫をした、という話は聞いたことがない。社会福祉協議会の建物だからという市の姿勢なのか教えてほしい。

【福祉部 小林部長】

趣味講座をずっと続けていくかという質問である。実は、こういう高齢者向けの講座を運営している市町村は、上越市しかないと聞いている。春日山荘は社会福祉協議会に補助金を出して実施しており、高田西趣味の家も市が関与する形でやっている。

春日山荘の代替施設を探す中で、福祉課では、市民いこいの家の温浴施設をなくしていく方針だったため、活用することを検討した。

春日山荘は、昭和40年代頃の国の補助金による老人福祉センターという位置付けになっていて、市が補助金を出し、老人の趣味講座を社会福祉協議会が実施する例は、県内にも、全国的にもあった。多分、当時の福祉はバスをチャーターして色々なところから通っていただいて、お風呂も付いた高齢者の居場所を作っていたのだと思う。

市としては、春日山荘の受講者から自主的な講座実施は難しいと聞いているので、市が関与する形で暫くやっていきたいと思う。その活動場所として市民いこいの家が良いと思っている。

老朽化の課題としてアスベストと書いたが、PCBも含め現在は、全部封じ込められており安全に使える。ただ、大規模に修繕を行う場合は、封じ込められている有害物質が出てくる可能性がある。工事も高額になると思われ、昭和50年に建てられた春日山荘をすぐ建て替えはしない方向で考えている。

【吉田義昭委員】

了解した。

【太田会長】

他に質問等はあるか。

【藤田委員】

春日山荘のことをもう少し知りたいと思ったのは、前期の地域協議会で2回にわたり春日山荘について市から説明を受けているからである。当時の説明では移転は考えていないと言われたような気がした。

また、当時の受講者は移転を把握されていたようだったが、その旨の説明はなく、後から市民いこいの家と高田西趣味の家に分かれると、いきなり市から聞かされた。それも協議会を通してではなく受講生への一方的な説明であった。

皆で理解して前に進んでいく、協議会委員もある程度理解してから前進できるような話の進め方が良いと思う。

【福祉部 小林部長】

令和元年に2回、説明に来た時点では代替施設は未定であった。当時の議事録には委員の皆さんから代替施設を絶対確保するように言われたと書いてあった。代替施設が未定の一番の理由は、年間を通じて予約を取れる施設がないからである。公民館の自前の事業があるため、趣味講座で年間貸し出すことは困難と言われていた。そのような中で、代替施設が決まったら地域協議会に説明することになっていた。

そして去年の段階で市民いこいの家に趣味講座を移転する方針を固め、まず受講生から理解を得ようと先に説明した。地域協議会に対して少し説明が遅れたのは申し訳なかったが、そのような経緯である。

【太田会長】

先ほど高齢者を対象にした趣味講座は全国的にも上越市のみと伺った。これは上越市内全域から、皆さんが春日山荘の趣味講座へ通って来ていることでよいか。

【福祉部 小林部長】

頸北地区などの遠方から、来られている方も結構いると把握している。市民いこいの家に移転すると話した時も、高田西趣味の家よりも、市民いこいの家の方が、集まりやすいとの意見をいただいた。

それ以外の東頸地区や頸南地区からも来ていただいていると思う。公民館を使った自主的活動も沢山あると思われるが、そこまでは把握できていない。

【太田会長】

把握している部分の、春日山荘での趣味講座に関しては市内全域の色々な場所から

受講者が集まっているという認識でよいか。

【福祉部 小林部長】

そのとおりである。

【吉田副会長】

市民いこいの家の管轄はどこになるのか。

【福祉部 小林部長】

福祉課である。

【吉田副会長】

今は社協が春日山荘で実施しているが、今後は市の直営になるということによいか。

【福祉部 小林部長】

春日山荘は社会福祉協議会が基本的に運営しているが、市民いこいの家に移った場合は、高齢者支援課が担当する。現在は福祉課が担当しているが、ほとんど高齢者支援課が使うことになるため、担当の変更を予定している。高田西趣味の家も高齢者支援課が直営しており、同様の形になっていくと思う。

【山田委員】

資料に受講者数 858 人となるが、この人数は現在活動している方の人数という認識でよいか。そして受講者は、どれ位の割合で市民いこいの家と高田西趣味の家に移られるのか。

【星野課長】

春日山荘の趣味講座は現在 31 講座あり、市民プラザで健康体操等を行っている 3 講座を除く 28 講座は、市民いこいの家へ 24 講座、高田西趣味の家へ 4 講座を移そうと予定している。人数は 24 講座で合計 435 人である。

【福祉部 小林部長】

例えば市民いこいの家の温浴施設を廃止するとなると、1年間で改修工事を行い、その後には春日山荘から移転していただくが、今は白紙の状況である。

【渡部委員】

了解した。

【太田会長】

本日は情報収集の時間であり、春日区地域協議会として少しまとめるための時間を次回作ればよいと思う。

以上で次第3 議題「(1) 報告事項」の「春日山荘における趣味講座について」を終了する。

【太田会長】

次に次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」に入る。自主的審議事項について、各分科会の審議状況を報告願う。

【吉田副会長】

観光分科会では、6月11日に春日山の現地視察を行った。埋蔵文化財センターから本丸、林泉寺、ものがたり館等を見ることができた。

この視察で学んだことは杉の木が切られて景観が良くなっているということ、また案内看板が少ないということである。そのほか銅像前の駐車場が非常に狭くインフラの整備が遅れている印象を受けた。

引き続き、長野の松代城などを参考に見に行きたいと思う。松代城は駐車場も整備されており、城の復元も進んでいて非常に恵まれている。地域の宝をどう扱うかという参考になると思う。

【太田会長】

私は当日参加できなかったが、別の機会に春日山へ行ってみたいと思う。

【藤井係長】

今回の視察の提案については、マイクロバスの予約など時間がかかる作業もあるため、日程は未定として少し調整させていただきたい。

【市川委員】

今回の視察研修は費用弁償の対象になると聞いた。視察研修は費用弁償の対象となるのか。

【藤井係長】

地域協議会全体で視察研修を行うと決め、会長が了承した研修であれば費用弁償の対象となる。金額については、会議と同様の一律1,200円である。

【太田会長】

補足するが、今回の視察研修も協議会委員全員に案内して開催し、私も了承したため費用弁償の対象になると理解している。また、分科会だけで行う場合は、一部委員の集まりとして費用弁償の対象にはならない。

【藤井係長】

厳密には、全体で決めた活動や公開会議では費用弁償が発生するが、任意の活動とみなされる時には、費用弁償の対象にはならないと理解いただきたい。

【市川委員】

了解した。

【太田会長】

次に安全安心分科会から報告願う。

【本多委員】

この間、特に打ち合わせる機会もなかったため報告はなしで了解願いたい。

【太田会長】

了解した。次に福祉分科会から報告願う。

【吉田義昭委員】

13 町内のデータを全部まとめた。今後どうやって進めていくかを、谷副リーダーから整理してもらったので、本日の福祉分科会で打ち合わせたい。

【太田会長】

他に分科会について発言はないか。

【渡部委員】

市長から、9月までにビジョンを示してほしいとか、来期の予算編成の話など様々な発言を報道等でよく見かける。協議会としても9月までに何か結論を出すのであれば、相当その気になってやらないと間に合わないのではないか。もう少しスケジュール化して固めてやらないと、分科会だけで決めたことを提出するわけにはいかないと
思う。

【藤井係長】

9月末に向けてまとめ上げていくと、かなりペースアップして、できるかできないかの感じだと思う。分科会の委員の中で、どうしたいかという思いを一つにまとめ、現実にはどうできるかを相談するのだと思う。簡単ではない事は渡部委員の認識のとおりだと思う。

【渡部委員】

地域活動支援事業の審査が終了したようだが、来期はもうないと考えればよいのか。これまで継続して採択されてきた団体も、来年度の支援はゼロということなのか。

【藤井係長】

今のところ、回答は持ち合わせていないのが現状である。

【渡部委員】

これまで継続して行ってきた活動をゼロにするのか。あるいは別の予算の立て方にするのか、まったくわからない。

【藤井係長】

委員が団体の活動継続について不安に感じていることを、庁内に伝えることにとどめさせていただく。この場で回答できずに申し訳ない。

【太田会長】

1月に開催された会長会議で、地域活動支援事業が今年度で終了する話が出た。令和5年度からは、新しく自分たちの地域は自分たちで予算組みをして市へ提出するような方向性を聞いたが、各団体への補助事業が継続していくのかどうかは、私には答えられない。

【谷委員】

まちづくりや地域づくりを基本として、いろいろな形の、地域に合ったものを提案してくださいという事だと思う。春日区としてどういうものを提案していくかを真剣に考えていかないといけない。

【太田会長】

谷委員が言うとおりに、地域づくりがとても大事なので、皆さんも協議会委員としてやっていかななくてはいけないことは重々承知していると思う。もっと積極的に具体的に、地域を明るくするための検討をしていく。そのために3つの分科会で活動しているのだと思う。

【渡部委員】

その進め方が間違っているのではないかと思う。分科会の方法で進めていくと、よほど頑張らないと議論は尽くせない。

分科会形式で大きなことを考えたり、市長が言うようにビジョンを示しても、今まで各団体でせっかくやってきた地域活動支援事業がゼロになるのは、何か変な感じがする。

【吉田副会長】

市長が各地区で行っている対話集会の場で、地域活動支援事業の復活の要望が出ていた。各地域でそういう声が上がってくれば市長も考え直すと思う。

【藤井係長】

春日区では春日中学校で対話集会が開催されるそうである。

【吉田義昭委員】

6月に市長が発言した趣旨を、新聞等ではなく地域協議会のメンバーに対して、しっかり説明してもらいたい。色々な情報が入ってきた時は、かみ砕いて教えてもらわないと話についていけない。

【小林センター長】

市長が発言された内容は、私が前回の会議でスライドを使って説明した内容と同じである。説明を受けた認識がないとしたら、それは私の説明不足である。これから違う情報が出てくるようであれば、逐一報告させていただきたいと思う。

【渡部委員】

今まで地域活動支援事業として10年位やってきた中にも、地域づくりのネタは入っていると思う。それらを拾い上げる等するべきである。ビジョンとか、予算がつかない等と言われると、これまでの我々の進め方でよいのか不安になってくる。

【小林センター長】

地域活動支援事業という、活動団体への補助金がこの先どうなるのかは、これから市の施策で決まっていくことであり、まだ固まっていない部分もあると思う。その点を理解いただいて、委員の皆さんには自主的審議を進めていただきたい。

【本多委員】

地域活動支援事業に関しては、市長が方針を出しているわけである。我々は自主的審議を上手にまとめて提出するしかないと思う。

【渡部委員】

地域活動支援事業ではなく、今の進め方では自主的審議の提案について、来期の予算がゼロになりそうな方向なので、今からスケジュールを厳しく管理しないと行けないと言いたいのである。

【太田会長】

自主的審議で今話し合っていることは、大きな予算がなくても進めていけることだと思う。だから予算にこだわるのではなく、春日区を住みよいまち、活気のあるまちにしていけるように3つの分科会に分かれて課題を一つでも解決していくことが自主的審議だと私は思っている。

予算が付かないとできない事業があることは十分承知しているが、9月末までに事業提案をすることだけにこだわるのは、今の春日区地域協議会のやり方に合わないと感じている。

【吉田義昭委員】

私も会長の考え方に賛成である。良い案が出来て必要が生じてから、市に審議していただき、予算化してもらうべきである。

【太田会長】

9月までの事業提案がスケジュール的に難しいのであれば、来年度に向けて具体的な提案を作っていく。地域の方々と協力して、今できることを進めていくのが分科会だと私は思っている。

【谷委員】

何をもって春日区を元気にしていくのか、又は春日区の特長を出していくのかを、具体化し提案した結果として予算が付くものだと思う。予算の審議は別の部署でされるわけだから、ここでは新しい具体的な提案を出していきたい。

【太田会長】

以上で次第3 議題「(2) 自主的審議事項」の「各分科会における審議の状況について」を終了する。

次に次第3 議題「(3) その他」である。地域活動支援事業の審査結果について、事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・参考資料に基づき説明

【太田会長】

以上で次第3 議題「(3) その他」を終了する。

次に次第4「その他」「(1) 次回開催日の確認」に入る。事務局より説明を求める。

【藤井係長】

- ・次回の地域協議会：7月20日（水）午後6時30分から 木田第一庁舎401会議室
- ・内容：（自主的審議事項）各分科会の審議状況

【太田会長】

その他、何かあるか。

（発言なし）

・会議の閉会を宣言

※閉会后、分科会を開催（流れ解散）

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL : 025-526-1690

E-mail : chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。